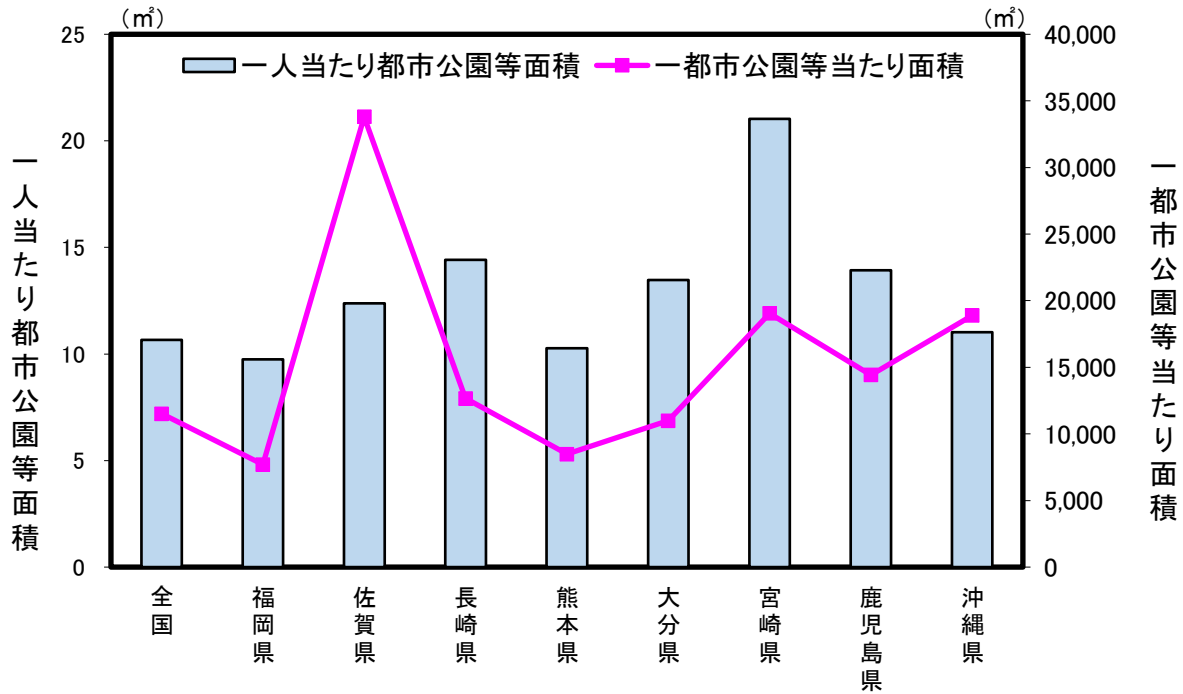


九州・沖縄各県の都市公園等面積比較(令和2年3月31日現在)



解 説

【概要】

令和2年3月31日現在の県内都市公園数は1,805か所(全国111,349か所)、また、都市公園等面積は1,531ha(全国128,165ha)であった。

人口一人当たりの都市公園等面積を比較すると、全国平均と近い水準にある。また、九州内では宮崎県がもっとも広がった。

○都市公園等

都市公園等とは、「都市公園法」に基づき国又は地方公共団体が設置する都市公園、及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特定地区公園(カントリーパーク)を指す。

○都市公園

街区公園、近隣公園、地区公園、総合公園、運動公園、広域公園、レクリエーション都市、特殊公園、緩衝緑地、都市緑地、都市林、広場公園、緑道、認定市民緑地、契約市民緑地、国営公園

※東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県、福島県の一部地域は平成21年度末の数値を使用

○都市公園の役割

- (1) 地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全による良好な都市環境の提供
- (2) 震災時の避難地、避難路、延焼防止、復旧・復興の拠点
- (3) 子供からお年寄りまでの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点
- (4) 地域間の交流・連携の拠点

○一人当たり都市公園等面積

都市公園等面積÷都市計画区域内人口

○一都市公園等当たり面積

都市公園等面積÷都市公園等数
※各都道府県値は特別区、政令市を含めたもの。

資料出所	調査期日	調査周期
国土交通省資料	令和2年3月31日	毎年